

発行元



一般社団法人倫理研究所
福岡県 福岡市那の津倫理法人会

事務局

〒813-0004
福岡市東区松香台2-10-43-101
TEL:092-692-7335
FAX:092-692-7433
<http://www.rinri-fukuoka.jp/>

楽通信 174

tanotsuushin

福岡市那の津倫理法人会の皆様

いつも、倫理活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。



前期の活動目標は「共に光り輝く活動」「人を信じる、自分を信じること」で、様々な愛情が生まれるきっかけとなり得るということ。委員会活動を通じて脈々と湧き出てくるエネルギーで信じあう組織づくりに取り組むことを目指してきました。幹事お一人お一人の協力を得て、ブロック会の発足と実践から学ぶ仲間づくりに邁進できました。毎回のゲストの方々とのふれあいから、それぞれの方々に寄り添う幹事の皆様の姿がここにあります。お陰様で前回より次回へと振り返りながらモーニングセミナーをより良い異空間へと構築することができました。共に光り輝く仲間と、社会教育活動に携われることに心より感謝しています。

今期は「一粋一ここに実践道場～本を忘れず、末を乱さず」

倫理法人会の「実践から学ぶ」実践を繰り返す、少しずつ自分自身を振り返る場所、成長する場所が「まさに道場」純粋倫理に触れると、「即行」の大切さが身にしみて感じられます。間髪入れずに相手に伝えることが気持ち良い。そして、相手の話を芯から傾聴することが大切です。思わずやってしまっている無意識の行動こそ、純粋で、素直な心持ちから生まれると確信しています。責め心をなくし、明るく、明朗に周りとかかわる行動が、自然と人とも物とも惹かれ合い、触れ合う機会が生まれて「祭り」のような雰囲気になるのではないのでしょうか？

無意識にお互いを思いやるとささの行動が身についたときにふんわりと柔らかで皆が幸せになっていくと信じています。脈々と受け継がれる那の津倫理法人会の本を知りながら、相談役に学んだ、「易不易」精神で変えてはいけないことを心根に置きながら新しく良いことを発見したら勇気をもってやってみる。純粋に感じたことを幹事のみならず相談しながら歩いていく今期を目指します。



福岡市那の津倫理法人会
会長 福井 富士子



2026年9月「経営者 モーニングセミナー」朝6:00～7:00

2日(水)

講話:「一粋一ここに実践道場～本を忘れず末を乱さず～」
講師:福岡市那の津倫理法人会 会長
(一社) ののか学園 施設長 福井 富士子氏

9日(水)

講話:「所信表明」
講師:福岡市那の津倫理法人会 役職者

16日(水)

講話:「決断」
講師:福岡市那の津倫理法人会 専任幹事
安河内建設(株)代表取締役社長 安河内 正幸氏
講話:「事務長の役を受けて」
講師:福岡市那の津倫理法人会 事務長
cohare オーナースタ일리スト浦田 智里氏

23日(水) 秋分の日 MSお休み

30日(水)

講話:「たゆたえども、たおやかに。」
講師:千葉県松戸市倫理法人会 会員
(株)ネオ・ゼロ 代表取締役 堀 朋幸氏

モーニングセミナー会場

福岡サンパレス

福岡市博多区築港本町2-1
TEL:092-272-1123 福岡サンパレス駐車場(駐車代無料)

モーニングセミナー後に 感想シェア会'を 始めました!!

モーニングセミナーで学んだこと、感じたことを
「即行で!」グループディスカッションしませんか?
その後、講話者や参加者と交流を図る朝食会で
学びを深めてまいりましょう!!
(感想シェア会 ～7時20分 終了 / 朝食会 ～8時05分 終了)

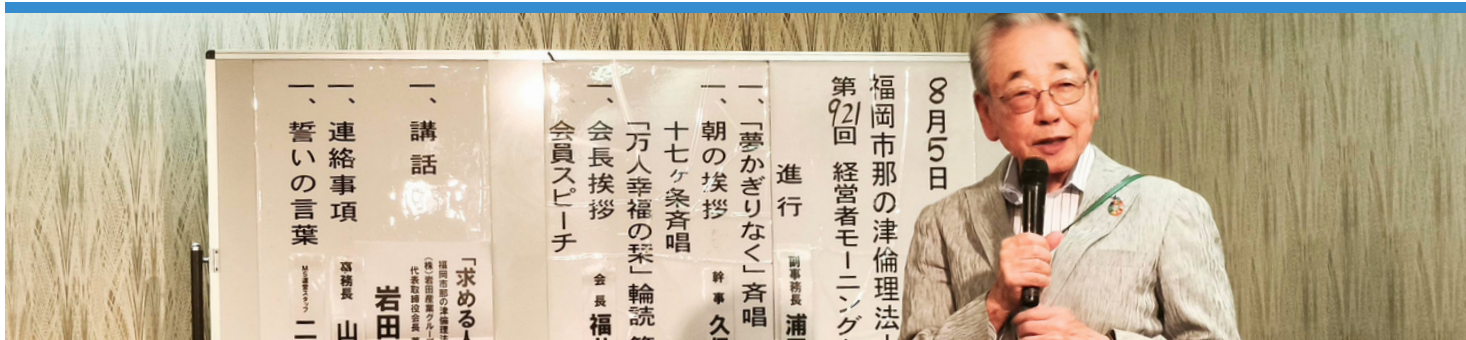


モーニングセミナーダイジェスト

「一流の仕事人である前に、一人の人間として一流であれ！」

講師 岩田陽男 氏

福岡市那の津倫理法人会 会員／株式会社岩田産業グループホールディングス 代表取締役会長兼CEO



▲第921回モーニングセミナー テーマ「求める人間像」を語られる岩田陽男氏

九州・山口の食を支える岩田産業グループ。二十六の営業拠点、従業員約千八百五十名、連結売上高五〇五億円。十八歳で商売人になる志を立てて六十年。七十九歳の岩田氏が語られたのは、数字ではなく「人としてどうあるか」だった。

ピザクック倒産の危機

平成九年、宅配ピザ「ピザクック」は倒産の淵に立つ。現場トップが退職し、社員の半数が離反、直営全店舗が閉店した。売却が決まっていた役員会で岩田氏は決意される。「私にさせてくれ」。頼ったのは、アルバイト時代から見込んでいた一人の店長。現社長・原野拓郎氏である。心中覚悟で共に立たれた。嫌がらせのファックスが飛び交うなか、岩田氏は閉店していた期間の給与を、アルバイトを含む全員に「働いたものとして」支払われた。辞めていく社員にも退職金を全額渡された。「この騒動はアルバイトの皆さんには何の関係もない」。損得ではなく、人としての判断であった。



▲一流人間心得七ヶ条を語る岩田陽男氏

この日は多くの学びをいただきました。「四千万円で売れ」と迫られたあの場面で、岩田氏が基準にされたのは損得ではなく「人としてどうか」でした。閉店していた期間の給与を、現場の皆さんにまで支払われたと聞いて胸が熱くなりました。七ヶ条はどれも特別なことではないからこそ、「守り切る」ことの難しさが残ります。まずは自分の履物を揃えるところから始まります。岩田陽男氏、ありがとうございました。

(広報委員 西村 朋宏)

一通の手紙

休業中、店のドアに手紙が届く。「疲れて帰ると子供の食事をつくる元気もでません。そんな時、ピザクックさんのピザを食べると明日も頑張ろうという気になります——働く主婦より」。この一通が使命感を生んだ。「私たちは、お客様の快適な食生活のお手伝いをしていくことです」。

赤トンボが教えたこと

最も苦しい日々、目に留まった小さな記事。プロゴルファーが赤トンボを助けるため罰を承知で球を拾い上げ、単独最下位となりながらフェアプレー賞に輝いた話である。「優れたプレーヤーである前に、まず優れた人でありたい」。ここから求める人間像が生まれた。

一流人間心得七ヶ条

- 一、挨拶は先手を打てる人間であれ！
- 二、礼儀作法をわきまえる人間であれ！
- 三、履物を揃えきる人間であれ！
- 四、有難うが言える人間であれ！
- 五、嘘をつかない人間であれ！
- 六、約束を守り切る人間であれ！
- 七、後かたづけのできる人間であれ！



▲岩田陽男氏を囲んで。この日は多くのゲストにご参加いただきました

会員の皆さまもゲストの皆さまも、ぜひ経営者モーニングセミナーへ。
清々しい朝の空気の中で、学び・出会い・元気をお持ち帰りください。

